

地域の状況

昭和31年荒沢村と田山村が合併し安代町が発足。中央部を奥羽山脈が南北に走り、東流する安比川と西流する米代川の分水嶺がある。町名の「安代」はこの両河川に由来する。北は青森県田子町、西は秋田県鹿角市に隣接する。

安代地区は東西に2.6km、南北に3.4kmで総面積は460km²である。人口は7,000人弱である。

生徒は、細野、畑、荒屋、五日市、浅沢、田山の6地区で構成され、半数がスクールバス通学である。平成10年度に学校林「ふれあいの森」にPTAと地域住民、生徒で栗の木6,000本、ブナ100本を植樹。

スキー大会では、平成10年、23年に県大会女子総合優勝を成し遂げた。また、スキー複合で平成13及びH15年に全国優勝者が出る。

高校への進学は、地元の平舘高校・盛岡市内の各高校・秋田花輪高校等へ進学している。

保護者は、学校に対して協力的で、教育に対する関心が高い。また、地域をあげて本校に寄せる期待も大きく、生徒の健全育成のための支援体制（PTA・体育後援会・各単位の育成会・スキー部を支援する会）が整っている。

平成17年9月町村合併により八幡平市立安代中学校となった。平成25年4月より、八幡平市立田山中学校と統合。統合を機に女子の制服を新しくし、新生安代中学校としてスタートする。